

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 学校教育目標 | 「夢をもち 自分たちの力で 未来を創り出す子ども」～やりぬく子 とともに生きる子～  |  |
|        | 自らの理想とする夢の実現に向けて、豊かな体験や人とのかかわりを通して学び、問題解決に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を身に付けていくとともに、よりよい人間関係を築くための心を育み、他者と共生しながら持続可能な社会を創り出していこうとする力と態度を育てます。 |  |

|      |              |                                   |          |       |          |           |
|------|--------------|-----------------------------------|----------|-------|----------|-----------|
| 学校概要 | 創立 74 周年     | 学校長 古屋 澄人                         | 副校長 白井 亮 | 2 学期制 | 一般学級: 18 | 個別支援学級: 4 |
|      | 児童生徒数: 629 人 | 主な関係校: 早瀬中学校 勝田小学校 新吉田第二小学校 都田中学校 |          |       |          |           |

|   |                            |   |
|---|----------------------------|---|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力  | 早瀬中<br>ブロック                | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組   |
| 問題発見・解決能力<br>自分づくりと人間関係形成力<br>心身ともにたくましく生きる力<br>グローバル化の中で生きる力 | 早瀬中学校<br>勝田小学校<br>新吉田第二小学校 | 安心して学び合い、確かな学力を身に付けられる早瀬中ブロック<br><br>・小中学校の教職員の人的交流を促進して、「学力観」「指導観」などの共有化を図り、基礎・基本の充実を目指した授業改善と学力向上を目指す。<br>・小中学校間の「中1ギャップ」から生じる不登校問題等、今日的な児童生徒指導上の課題の解消を目指す。 |

|        |  |
|--------|--|
| 中期取組目標 | 教職員が一丸となって次のことに取り組み、学校教育目標の具現化を目指す。<br>・子どもが、学ぶ楽しさを実感しながら主体的、対話的で深く学ぶことができるように、教職員の研究・研修を充実する。<br>・カリキュラム・マネジメントを核として、子どもの学力や体力の向上を目指して、組織的・計画的に取り組む。<br>・チームで取り組む人権教育・児童支援体制を充実させ、誰もが安心して学校生活を送れるように努める。<br>・保護者、地域、関係機関との連携を図り、協働的に子どもを育てる風土を築く。 |
|--------|--|

| 重点取組分野  | 具体的取組          |          |    |           |   |
|---|----------------|----------|----|-----------|---|
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>生きてはたらく知</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>カリマネ部</td> </tr> </table> | 知              | 生きてはたらく知 | 担当 | カリマネ部     | ・国や市の学力状況調査結果の分析を元に、学年ごとに育てたい力と伸ばしたい力を明確にし、それに基づいた指導を行う<br>・習得した知識や技能を実生活で活用する場面を設定する<br>・体験や人とのかかわりを重視した、探究的・問題解決的な学習を充実させる。<br>・重点研究の算数を中心として、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。             |
| 知   | 生きてはたらく知       |          |    |           |   |
| 担当  | カリマネ部          |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権・児童指導部</td> </tr> </table>  | 徳              | 豊かな心     | 担当 | 人権・児童指導部  | ・特別活動を核とした、児童が主体となった集団生活をつくる ・ペア学年の設定と異年齢集団の交流と幼保、中学校との連携・個別支援学級と一般学級児童の日常的に交流する ・道徳の時間の授業改善(R3年度 道徳教育推進校)・特別支援教育を核とした人権教育の充実。横浜プログラムの計画的な実施とアセスメントを活用する(R4人権教育推進校)                     |
| 徳   | 豊かな心           |          |    |           |   |
| 担当  | 人権・児童指導部       |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>健康・安全部</td> </tr> </table>   | 体              | 健やかな体    | 担当 | 健康・安全部    | ・児童が主体となった学校保健委員会の活動を充実する(テーマは姿勢) ・児童が主体となった体力づくり運動(長縄)に取り組む ・自分自身の身は自分で守ることができる(安全教育) ・適切な環境など感染対策を実践する ・保健、体育の授業の充実   |
| 体   | 健やかな体          |          |    |           |   |
| 担当  | 健康・安全部         |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>未来を開く志</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>カリマネ部</td> </tr> </table>  | 公開             | 未来を開く志   | 担当 | カリマネ部     | ・地域や社会の“材”を積極的に生かし、子どもたちが主体的に取り組む、学び豊かな生活・総合的な学習の時間を行う。<br>・“材”とのかかわりを通して学んだこと、身に付けたことを子どもたちが自分の言葉で語る場(OKフェスタ等)を設け、学習の成果を実感できるようにする。<br>・SDGsの実現に向けた取り組みにすることで、社会に貢献しているという意識をもてるようにする。 |
| 公開  | 未来を開く志         |          |    |           |   |
| 担当  | カリマネ部          |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権・児童指導部</td> </tr> </table>                                | いじめへの対応        |          | 担当 | 人権・児童指導部  | ・複数の目で児童の実態を把握できる指導体制の確立 ・定例で行う「いじめ防止対策委員会」を通じた情報の共有と組織的に取り組む ・いじめ早期発見に向けた児童への定期的なアンケートや面談を実施する。<br>・児童理解や人権に関する職員研修を行う。  |
| いじめへの対応   |                |          |    |           |   |
| 担当  | 人権・児童指導部       |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>                              | 人材育成・組織運営(働き方) |          | 担当 | 教務部       | ・学校運営部会や教務会を中心とした学校運営組織づくりを行う。キャリアステージに応じた働きができ、職員が孤立せず、サポートを受けやすい環境づくりを進める。<br>・チーム学年経営を常に意識し、情報共有・児童指導・教科担任制を継続する。管理職・養護教諭・専任とも連携し学校全体で児童を指導しながら職員の人材育成を図る。                           |
| 人材育成・組織運営(働き方)  |                |          |    |           |   |
| 担当  | 教務部            |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">人権・児童指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権・児童指導部</td> </tr> </table>                                | 人権・児童指導        |          | 担当 | 人権・児童指導部  | ・いじめの未然防止及び早期解決に向けた、組織的・継続的に取り組む。<br>・児童支援専任を核とした、協働的な児童指導体制を充実させる。<br>・保護者、Sカウンセラー、SSW等関係機関との積極的に連携する・折本スタンダードに基づいた、一貫した児童指導を行う。   |
| 人権・児童指導   |                |          |    |           |   |
| 担当  | 人権・児童指導部       |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援C部</td> </tr> </table>                                   | 特別支援教育         |          | 担当 | 特別支援C部    | ・個に応じた学習が必要な児童への支援の一つとして、スマイルルーム(特別支援教室)を活用する。<br>・外部機関と連携を図り、児童によりよい指導や支援を実践できるように。<br>・UDを意識した教室環境の整備を行う。また、授業の指導方法等もUDを意識できるようにする。   |
| 特別支援教育  |                |          |    |           |   |
| 担当  | 特別支援C部         |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">GIGAスクール構想</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>情報教育部</td> </tr> </table>                                | GIGAスクール構想     |          | 担当 | 情報教育部     | ・GIGAスクール構想の実現に向けたICT端末の効果的な活用の準備と実践をする。<br>・「個別最適な学び」の実現(指導の個別化 学習の個性化)に向けて、授業でのICT端末を効果的に活用し、授業事例を蓄積できるようにする。<br>・有事に備えた「学びの保障」に向けたオンライン授業の準備と実践をする。                                  |
| GIGAスクール構想  |                |          |    |           |   |
| 担当  | 情報教育部          |          |    |           |   |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">教育環境整備</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>花いっぱい部 総合</td> </tr> </table>                                | 教育環境整備         |          | 担当 | 花いっぱい部 総合 | ・子どもたちの豊かな情操を育てる花や緑の環境整備(一人一鉢実践)に取り組む。<br>・畑の活用により、地域の特色をいかした体験的な学びを充実させる。<br>・学校司書との密な連携で、国語をはじめとする言語学習の中で学校図書を積極的に活用する。   |
| 教育環境整備  |                |          |    |           |   |
| 担当  | 花いっぱい部 総合      |          |    |           |   |